

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400073		
法人名	株式会社 タクト		
事業所名	グループホーム有浦		
所在地	秋田県大館市有浦1丁目4-8		
自己評価作成日	平成28年2月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成28年3月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は向かいに特定老人ホームあり、災害時や緊急時の連携・行事等への参加を行う事ができております。又、毎月2回の協力医療機関の往診や正看護師の配置等医療との連携体制も取れており、利用者様の健康管理や重度化・看取りへの対応を含め、安心して安全な生活環境を提供するよう職員が一体になり取り組んでおります。御家族様に対しては都度状態をお知らせし、本人様との絆を大切に保って頂けるよう配慮しております。

夜間は夜勤職員と宿直職員の2人体制で緊急時に適切な対応ができる体制であり、道路を隔てた同一法人の施設とも災害時の協力体制がとられています。利用者が地域の中で普通に暮らし、利用者本位の生活が送れるようチームで支えています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様の尊厳を維持し、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりが有する能力に応じ、自立した生活を送れるよう、毎月の職員会議や研修、毎日の申し送り等で確認しながら実践に努めております。	利用者の立場に立ち、利用者本位のサービス提供の実践に努めています。	理念に基づく一元的な運営ができるよう、管理者始め職員が共通認識を持って取り組むことを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し夏祭りの参加や近隣住民を招待してのバーベキュー会、クリスマス・忘年会等を開催し地域との交流に努めております。近隣の方より自主的に鉢植えや再生利用目的でスーパーの袋を提供して頂いております。	周辺の清掃をしながら散歩したり、町内行事にも参加しています。ホームの行事の際には戸別に案内して参加を呼びかけ、交流が図れるよう努力されています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議や御家族様・地域の方を招待しての交流時に理解して頂けるよう努めております。又、面会時には本人様の状況を説明し、家族様に現在の本人様を理解して頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では運営状況・利用者様の状況・職員の状態・事故ケース等を報告し皆様からの意見や助言を頂いており、職員会議で改善点を話し合いサービスの向上を目指しております。	2ヵ月に1回開催の目標は達成しています。会議でホームの現況を報告し、意見を出していただいています。	地域住民の代表等の参加を依頼し、地域との協力関係構築のための取り組みを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者の方より情報や助言を頂いており、連携がとられています。	運営推進会議で意見をいただいている他、職員が行政主催の研修に参加する等、連携が図られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関を施錠しておらず、出入りはセンサーで随時確認し、把握しております。身体拘束に関するマニュアルは事務所内に掲示し職員会議等で話し合い理解しております。	職員は身体拘束による弊害を理解しており、状況に応じた話し合いを行って身体拘束をしないケアを実践されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	行動指針を常に職員が確認できる場所に掲示しております。又、職員間でも注意し合い情報交換を行いながら防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市社会協議会の福祉生活サポートセンターと連携し、入所者様の権利擁護に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレットや料金表で家族様や利用者の方に分かりやすいように説明しております。不安や疑問点については納得して頂けるように説明し、同意を得ております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内に苦情相談窓口を設置し・利用者様・家族様からの苦情があった場合は迅速に対応いたします。必要に応じて市又は国民健康保険団体連合会へ報告し指示を仰ぎます。	面会時には要望等が出されることはないものの、運営推進会議では意見が出されており、サービスに反映できるよう、状況に応じた対応をされています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや毎月の職員会議・ケア会議で職員の意見や提案を聞き、運営に反映させております。	職員会議は全員が参加して行われ、様々な意見や提案を聞いて運営に反映できるよう取り組まれています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各種資格の取得や役割分担を考慮し、職員が向上心を持って働けるような環境づくり心がけております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や研修生などの受け入れをすることにより、全職員がケアの向上に繋がるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に他施設との交流を行い、情報の交換をしケアの向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	インテーク時には気持ちや要望を引き出せるような会話を心がけ、本人様の訴えに耳を傾けるよう努めております。又、意思表示が困難な方に関しては家族様に情報を得て、本人様が安心できる環境や関係作りを職員間で話し合っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談・面談は相談者のご都合に合わせてお話を聞き、納得して頂けるようゆっくりと時間を持てるよう心がけております。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	新職員の採用時や職員会議等で、本人様の状況を考慮したケアを提供するよう伝えております。又、人生の先輩でもある利用者様に敬意を持ち、生活を共にしていることを日々、念頭に置きながら関係を築いていけるよう努めております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様・家族様が一緒に楽しんで頂けるような行事の企画、気軽に面会に来て頂けるような雰囲気作りに努めております。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様の迎えあり、正月やお盆・クリスマスなどには定期的な面会で外食・一時帰宅をされている利用者様や不定期だが、親戚・友人の面会がある利用者様がいらっしゃいます。	クリスマスや誕生日にホームで家族と逢える機会を作って継続的に交流できるように働きかけ、お盆に帰宅されたり、移動図書館を利用される等、生活習慣に沿った暮らしができるよう支援されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は共有空間にてのんびりとした雰囲気の中、自由に係わりやすい環境づくりに配慮しております。又、良好な関係を築けるように相性や人間関係などを考慮しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も気軽に来所又は御相談いただけるよう、お声掛けさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様より今後の生活の意向、希望の確認を行っております。又、訴えることが困難な場合には家族様からの意向や生活歴、普段の生活状況から考慮し、ケア会議で検討しております。	本人から希望を言われることはほとんどないため、入居時の情報や日常生活の中で意向が把握できるように取り組まれています。	日々の関わりの中で把握した情報を記録に残し、情報を共有できる取り組みを期待します。
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際、事前面談、アセスメント及び担当介護支援専門員より情報提供頂いて、経過の把握に努めております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録、基本動作の状態を記録に残しております。毎日の申し送りや定期的なケア会議開催にて全職員が入居者様一人ひとりの現状の把握に努めております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護保険の更新時や半年ごとの見直し又は状態の変化が生じた場合、ケア会議を開催し全職員が話し合い検討しながら、本人様・家族様の意向も踏まえて介護計画を作成しております。	ケア会議で職員が意見を出し合い、介護支援専門員が中心となって現状に即した介護計画を作成されています。	介護計画に基づくサービス内容をモニタリングや再アセスメントに活用できるよう、記録の取り方に工夫を期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個人記録を個人ファイルに保管すると共にケア会議や申し送りで話し合い、全職員が情報を共有し合いながら、介護計画の見直しや実施に活かしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様一人ひとりの家族状況を把握し、民生委員・警察・医療機関に御協力頂いております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際、協力医院・歯科医院の説明をし納得頂いております。又、本人様のかかりつけや家族様の希望がある場合は、要望される病院受診も可能です。	ホームの協力医による医科、歯科の訪問診療が行われている他、希望する医療機関での受診にも対応されています。受診記録を残し、必要に応じて家族に報告されています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による日常の健康管理や服薬管理を行っております。入居者様の体調に変化があった場合は迅速に報告し、受診等の支援ができるようになっております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院時には医療機関との情報交換や相談などを行っております。又、退院後の生活についても本人様・家族様の希望を含め、安心して生活できるように病院からの情報・助言を基に身体状況を確認しながら関係作りにも努めております。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの必要性が生じた際、あるいは終末期については本人様や家族様の意向を聞き慎重に話し合い、協力医院と連携を取りながら援助を進めていきたいと思っております。	これまで看取りの経験はありませんが、家族の意向に沿って支援できるよう体制を整えています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の緊急連絡体制のマニュアル化や、職員会議時には対応や連絡体制の確認を行っております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、日中・夜間想定避難訓練を全職員が参加しております。火災発生時は隣接している老人ホームへ避難できるよう協力体制と連携を図っております。又、災害用物品も準備点検も行っております。	法人間の協力体制はできていますが、近隣住民は訓練に参加されておらず、画一的な訓練となっています。	最終避難場所へ安全に避難できるよう地域住民の協力を得ながら役割分担を決め、訓練を重ねることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳を保持でき、誇りやプライバシーを損ねないよう配慮しております。声掛けをする際は一人ひとり心身の状況を考慮し、それまで生きてきたその人の人生が否定されてしまうことが無いよう努めております。	声をかけてから介助することを心がけ、話す時の目線や言葉遣いに気をつけています。排泄時の声かけや誘導の仕方にも配慮し、利用者を尊重した対応をされています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で思いや希望を表現できるように普段から高齢者の話(言葉)や表情・サインを見逃さずに対応し耳を傾けるようにしております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活をなるべく入居者様のリズムに合わせるよう努めております。家事手伝いや軽作業等、心身の状態により日によって違いますが積極的に進んで行ってくださる方や声掛けを待っている方等おり、状況に合わせて援助しております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問利用又は美容院へ出かける等身だしなを気をつけるよう支援しております。服装やヘアスタイルに拘りがある方は希望をされるよう援助したり、ご自分でできる方は自力で服の選択や髪型のセットなど行える様配慮しております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各入居者様に好みや形状を考慮し食事が楽しめるよう配慮しております。又、行事食やきりたんぼ作りの際は職員と一緒に作ったり、盛り付けをするなど季節感を味わいながら楽しんで食事ができるよう援助しております。	駐車場を利用してのバーベキューやクリスマス、誕生日にいつもと違う雰囲気食事が楽しめるように工夫されています。また、自発的に手伝ってくれる利用者の気持ちも尊重し、能力を活かせるよう支援されています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者各々に合わせた食事量・形態で提供しており、食事量・水分量の記録や月1回の体重測定で栄養状態を把握しております。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い歯周病予防を支援しております。義歯装着の方は夕食後に洗浄剤使用にてつけおき除菌を行い口腔内の清潔保持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が継続できるよう、個別援助を心がけておりますが、本人様の状態により尿取りパットや紙おむつが必要な方もおります。各入居者様の排泄パターンを把握し、できるだけ自立した排泄が継続できるよう支援しております。	排泄用品を使用しない方もおられるため、適切な誘導を行い、トイレでの排泄を大切にしたい個別の支援をされています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状態を把握し、食事・水分量や運動量を考慮しながら支援しておりますが、便秘が改善されない方は医師に相談し下剤服用で調整しております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人様の心身の状態に合わせ介助しており、状況によっては臨機応変に午前・午後に分けた入浴介助を行い、気持ちよく入浴できるよう配慮しております。一人毎に浴槽内のお湯は入れ換えております。	週2回の入浴を基本にされており、その日の状況に合わせて柔軟に対応されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の状態や希望に応じて休息の声がけや誘導を行っております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬の説明や注意事項などを職員間の連絡ノート及び申し送りで周知徹底しております。又、服薬困難なケースでは医師や薬剤師に相談し形状を変えて服薬して頂いております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの生活歴や心身の状態を考慮しながら役割の分担や趣味活動の提案を行っております。職員会議や毎日の申し送りで意見交換や情報収集し話し合いながら、統一した支援を目指しております。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や本人様の状態や希望により散歩する機会を持ったり、遠出して季節を味わったり気分転換を図っております。又、家族様・近隣の方と一緒にテラスでのお茶会・食事会や、隣接している老人ホームでの行事参加等できるだけ外出の機会をつくるように努めております。	町内の行事や近隣の散歩、少人数でのドライブ等で外出の機会をつくっており、また、帰宅されることもあって家族の協力も得られています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金は事務所で管理しております。本人様からの物品購入などの希望にはその都度対応し、家族様からの同意も頂いております。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様からの電話にはその都度対応しております。入居者様からの要望は少なく、毎年御友人からはがきが届く方がいらっしゃいますが、3年ほど前まではお返事を出されていたが現在は頂くだけとなっています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内に光触媒の散布や自然素材の消臭スプレーを使用し、消臭対策をしております。又、季節ごとの絵手紙や貼り絵、植物を配置し居心地の良い空間作りに努めております。	ホールは天井が高く、天窓から採光が得られて明るく、和室も設けられていて、ソファや食堂テーブルが広い空間に配置されていることから、安全で自由に過ごせる配慮がみられます。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファ・テレビを配置し、気の合った入居様同士で談笑されたり、テレビ観賞されたり又は和室やダイニングテーブルにて過ごされたりと、自由に利用されております。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様・家族様と相談し、これまでの生活でなじみのある物をお持込をお願いしております。家族の写真や仏壇、家具等配置し、自室で穏やかに過ごすことができるよう配慮しております。	ベッドはホームで用意されており、状態に応じて電動ベッドが提供されています。身の回りのものは収納庫を使用して整理され、居室内は整然としていて安心して過ごせる環境となっています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設置し、自由且つ安全に移動できるようにしております。又、入居者様各々に合った役割りや趣味活動を提案しながら本人様の意思を尊重し、意欲を持ち生活できるよう支援しております。		